

会議室に入り、さっそく会社の説明を聞いたが、この会社の販売している不動産（マンション、別荘等）の販売先は金持ちを対象にした販売であり、いずれもホテルのような設計となっている。設備の環境関連ではかなり緑化、水質に力を入れているようだ。またパンフレットも緑で統一されていた。時間もないため質問は押さえて交流会は終了、宿泊先の維景国際大酒店へ向かった。

江蘇省如皋市招商局

ホテルへ戻り、一階のレストランで江蘇省如皋市招商局顧局長、如皋市白蒲鎮委員会、如皋市東陳鎮委員会冒党委書記、建湖經濟開發区管理委員会汪副主任、建湖県人民政府周副県長、南通市委員会趙委員らと食事をしながら交流をおこなった。

夜の宴会終了後、次の交流相手である塩城市外事事務室の趙寧主任・通訳の朱さんと事前打合せをすることで名刺交換をした。

しかし今夜は時間が無いとのことで明日の朝、再度事前打合せすることになった。



9月22日（火）雨

今日も外は雨である。

朝、07:30から塩城市外事事務室の趙寧主任・通訳の朱さん、外事事務室周副研究員と今夜の塩城市人民政府との交流会について参加者や方式などについて事前打合せを行なった。

彼らは、昨夜から杭州市で宿泊し、今日夜の交流会のために宿泊している。杭州市から塩城市まで高速道路を使って5時間かかるという。

塩城市との交流会は、在大阪中国総領事館に勤務する森申副領事の故郷であり、彼からの依頼で実現することになった。

聞けば森申副領事は趙寧主任の部下であったようで、聞いて驚いた。

西湖参観

我々一行は、雨の中、近くにある有名な西湖遊覧へ出かけた。ホテルから山路を通りバスで向かったが、途中の道路は車が少ない。莫さんの話では、今日22日は中国の都市でノーマイカーデーが実施されているので、バス・タクシー以外の一般車は運転できないとのことであった。

街道の各交差点には交通警察が立ち、一般車が来ると注意している光景も見えた。ここまで徹底できる中国の方式を日本も見習った方がよいと思った。また信号機には殆ど残秒数が表示されている方式はすばらしいアイデアと思った。お陰で我々が乗ったバスはスムーズに西湖へ到着した。

我々はバスを下車し、西湖の遊覧船乗り場へ向かったが、平日にも関わらず観光客が多い。中国でいつも思うことだが、平日に何故、多くの観光客が多いのか不思議に思う。会社を休んで観光をしているのか、あるいは農村のご一行が観光にきているのかわからない。

遊覧船に乗り、雨の西湖そして風景を約一時間堪能した。雨の中、20日に見学した南の雷峯塔はモヤにかすんで見える。また北の保俶塔はかすかに見える程度だった。ガイドをしてくれている鄭さんの話では西湖は人造湖であり、遊覧船は全てバッテリーで運航しており、環境対策にはかなり厳しい規制があるとのこと。湖周辺には蒋介石が使ったとされる別荘などが点在しており、風光明媚な西湖である。西湖は、北宋の詩人蘇東波がこの湖をこよなく愛し、その詩の中で中国古代の美女西施にたとえて「西